



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月11日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドゥ
 コード番号 3032 URL <http://www.golfdo.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 伊東 龍也
 (氏名) 大井 康生
 配当支払開始予定日

未定

TEL 048-851-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,834	—	△20	—	△21	—	△54	—
22年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△4,428.13	—
22年3月期第2四半期	—	—

(注)22年3月期第2四半期は連結財務諸表を作成していないため、数値の記載はしていません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
23年3月期第2四半期	1,942	—	469	—	24.2	37,972.37		
22年3月期	1,710	—	532	—	31.1	43,027.57		

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 469百万円 22年3月期 532百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,400	—	0	—	0	—	△35	—	△2,828.51

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

(注)前期は連結財務諸表を作成していないため、対前年同期増減率の記載はしていません。

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、 除外 一社（社名 ）」

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
定率法で償却している資産に関しては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(1) 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	13,083株	22年3月期	13,083株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	709株	22年3月期	709株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	12,374株	22年3月期2Q	12,374株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績も通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国や新興国の経済改善や政府の経済対策により回復の兆しがみられたものの、欧州の財政問題から端を発し、米国の経済状況の不確実性から株安や急速な円高へと進展し、依然として、景気回復については不透明な状況となっております。

ゴルフ業界におきましては、国内女子プロツアーの人気継続、若手男子プロの活躍により、若年層や女性を中心にゴルフ人口は増加傾向となっているものの、消費者の生活防衛意識の高まりによる節約志向が依然として強く、厳しい状況が続いております。また、今夏の記録的な猛暑の長期化によるプレー人口の減退（平成22年8月前年同月比93.0%（ゴルフ場）／87.0%（ゴルフ練習場）、経済産業省「特定サービス産業動態調査」）は、ゴルフクラブなどの買い控え、急激な来店客数の減少、大幅な客単価の低下などの影響を受け、依然として厳しい状況であります。

このような状況の下、当グループでは引き続き、事業全体の収益性向上を目指し店舗運営オペレーションの見直しを行い、積極的な販促活動、低価格品の品揃え、在庫の適正化等による粗利益率の改善及び経費削減に努めてまいりました。

店舗につきましては、直営店、フランチャイズ加盟店ともに新規出店はありませぬ。全体的に記録的な猛暑の長期化により店舗の売上高ならびに営業利益面でも厳しい状況となりました。なお、直営店におきましては、7月末に不採算店であった「ルララこほく店」の閉店を断行しました。その結果、平成22年9月末日現在の営業店舗数は全国で合計76店舗となっております。また、「ゴルフ・ドゥ！オンラインショップ」でも、実店舗同様に売上高は厳しい状況となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18億34百万円、営業損失は20百万円となり、かつ、閉店に伴う特別損失を計上したことで、四半期純損失は54百万円となりました。

これをセグメント別で見ますと、直営店販売事業の売上高は、12億90百万円となり、フランチャイズチェーン販売事業、営業販売事業の売上高も直営店販売事業同様に、得意先の販売不振による仕入控え等により、フランチャイズチェーン販売事業は2億62百万円、営業販売事業は2億80百万円となっております。

なお、ゴルフ・ドゥ！店舗月次データ（売上高前年比）は以下のとおりであります。

月	第1四半期 合計	H22年 7月	H22年 8月	H22年 9月	第2四半期累計 合計
チェーン全店	101.0%	96.9%	89.1%	88.7%	96.5%
チェーン既存店	99.7%	92.3%	87.1%	86.1%	94.3%
直営全店	98.3%	95.1%	82.6%	81.7%	92.6%
直営既存店	99.7%	95.1%	87.7%	86.5%	95.0%
F C全店	102.2%	97.7%	91.9%	91.7%	98.1%
F C既存店	99.7%	91.1%	86.9%	85.9%	94.0%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産及の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は19億42百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が1億93百万円、受取手形及び売掛金が2億2百万円、商品及び製品が7億19百万円で合計で12億2百万円となりました。

固定資産は、連結に伴うのれんの計上と直営店の閉店により、7億40百万円となりました。

流動負債は、新品クラブの取扱アイテムの増加により買掛金が2億3百万円、短期借入金金が2億60百万円となり全体で7億93百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期連結会計期間期首に比べ1億27百万円減少し、1億84百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により支出した資金は84百万円となりました。

これは主に売上債権、たな卸資産の増加及び仕入債務の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は1億75百万円となりました。

これは、主に子会社株式取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は1億33百万円となりました。

これは、短期借入及び長期借入とその返済によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、株安や急速な円高へと軟調な動きのまま景気回復については依然不透明な状況にあり、ゴルフ用品市場におきましても、いまだ本格的な回復過程には至らないと思われます。このような厳しい環境と当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、平成22年11月11日に当通期の連結予想を修正致しました。その内容は、連結売上高44億円、連結営業利益0百万円、連結経常利益0百万円、連結当期純利益△35百万円であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

平成22年5月18日付にてスクエアツウ・ジャパン株式会社の全株式を取得することにより、同社を子会社化いたしました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

定率法で償却している資産に関しては、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

②企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
 (平成22年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	193,062
受取手形及び売掛金	202,351
商品及び製品	719,511
原材料及び貯蔵品	1,112
その他	89,931
貸倒引当金	△3,263
流動資産合計	1,202,705
固定資産	
有形固定資産	233,438
無形固定資産	
のれん	81,092
その他	28,181
無形固定資産合計	109,273
投資その他の資産	
その他	399,534
貸倒引当金	△2,167
投資その他の資産合計	397,366
固定資産合計	740,078
資産合計	1,942,784
負債の部	
流動負債	
買掛金	203,621
短期借入金	260,498
1年内返済予定の長期借入金	150,984
未払法人税等	17,022
賞与引当金	24,206
ポイント引当金	28,480
その他	108,791
流動負債合計	793,603
固定負債	
長期借入金	532,384
退職給付引当金	64,735
資産除去債務	24,960
その他	57,230
固定負債合計	679,310
負債合計	1,472,913

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成22年9月30日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	500,765
資本剰余金	177,817
利益剰余金	△179,047
自己株式	△23,625
株主資本合計	475,910
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	△305
為替換算調整勘定	△5,734
評価・換算差額等合計	△6,039
純資産合計	469,870
負債純資産合計	1,942,784

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	1,834,650
売上原価	1,182,687
売上総利益	651,963
販売費及び一般管理費	672,003
営業損失(△)	△20,039
営業外収益	
受取利息	1,783
受取手数料	1,732
為替差益	4,173
その他	990
営業外収益合計	8,679
営業外費用	
支払利息	7,580
その他	2,419
営業外費用合計	10,000
経常損失(△)	△21,360
特別損失	
固定資産除却損	2,159
店舗閉鎖損失	17,449
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,086
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,235
特別損失合計	31,931
税金等調整前四半期純損失(△)	△53,292
法人税等	1,501
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△54,793
四半期純損失(△)	△54,793

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自 平成22年4月1日
 至 平成22年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△53,292
減価償却費	30,196
長期前払費用償却額	809
のれん償却額	4,268
貸倒引当金の増減額(△は減少)	866
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,738
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,079
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△2,734
受取利息及び受取配当金	△1,783
支払利息	7,580
有形固定資産除却損	2,159
店舗閉鎖損失	17,449
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7,235
長期前払費用の増減額(△は増加)	△1,385
売上債権の増減額(△は増加)	△24,874
たな卸資産の増減額(△は増加)	△28,818
仕入債務の増減額(△は減少)	△18,311
未払金の増減額(△は減少)	6,231
未払費用の増減額(△は減少)	△125
未払消費税等の増減額(△は減少)	△33,302
その他	9,210
小計	△64,802
利息及び配当金の受取額	1,774
利息の支払額	△7,848
法人税等の支払額	△13,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	△84,667
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△10,499
無形固定資産の取得による支出	△5,482
敷金及び保証金の差入による支出	△12,690
敷金及び保証金の回収による収入	227
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△154,241
貸付金の回収による収入	212
建設協力金の回収による収入	4,805
その他	1,850
投資活動によるキャッシュ・フロー	△175,818
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	130,125
長期借入れによる収入	120,000
長期借入金の返済による支出	△116,634
財務活動によるキャッシュ・フロー	133,491
現金及び現金同等物に係る換算差額	△812
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△127,807
現金及び現金同等物の期首残高	312,669
現金及び現金同等物の四半期末残高	184,862

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、本社に各事業本部を置き、取り扱う製品・サービスについて国内の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業本部を基礎とした販売・サービス別のセグメントから構成されており、「直営店販売事業」、「フランチャイズチェーン販売事業」及び「営業販売事業」の3つを報告セグメントとしております。

「直営店販売事業」は、直営店舗による一般顧客への直接販売及びインターネットを媒体とした通信販売を行っております。「フランチャイズチェーン販売事業」はフランチャイズ加盟店への物品販売、サービスの提供その他事業経営についての指導、援助を行っております。「営業販売事業」はBtoBによるディーラー販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	直営店販売	フランチャイズチェーン販売	営業販売	
売上高				
外部顧客への売上高	1,290,960	262,920	280,768	1,834,650
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	12,334	—	12,334
計	1,290,960	275,255	280,768	1,846,984
セグメント利益	3,744	88,288	8,384	100,418

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	100,418
全社費用（注）	△120,457
四半期連結損益計算書の営業利益	△20,039

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。